

# みんなの県政

1972/5  
NO.41 富山





# 富山県

# くすりの の

## 特集



### 5月の園芸

五月は、カキツバタ、カスミソウ、アマリリス、カワラナデシコなど一年のうちでも最も豊富な種類の開花が楽しめる時期です。

なかでも宿根草かきつばた（あやめ科）は日本のアヤメ類の中でも最も古くから栽培されている代表的な五月の園芸です。現在では京都の梅の宮神社に数種残っている程度です。これは水湿地でないと育たないのが一つの原因です。葉の中部は突出せず、葉の先が垂れ花は葉の先端よりも下で咲き、花はアヤメのように網状紋がないのが特徴です。栽培には、初め三芽をもった根茎を植えこみ、水の浅い水湿地に植えます。



薬師 岳とちんぐるま

### 〈表紙せつめい〉

八尾の曳山

寛保元年、八幡社の遷宮式の上りものに、花山を出したのが始まりといわれる八尾町の曳山は、現在六台あり、5月5日の子供の日には、ホリキのミツのヨーカンボ、サーヤチという、特有の勢子のかけ声で、町内を引き回す。色彩豊かな豪華けんらんたる曳山は、二階に神の依代である人形をかざり、階下ではその神を喜ばす、稚楽調・長唄調の囃子が行なわれ、蚕都として豊かに発展した八尾町の庶民の姿を今に残している。





# 富山県薬業のおこり

富山県家庭薬のはじまりは非常に古く、その昔、立山附近で熊胆、黄連などをとって、製薬され、立山修験者がこれを取扱ったという記録があるようです。

しかし、一般には今から約三百年前、富山二代藩主前田正甫公が備前岡山の医師、万代常閑から秘薬反魂丹を学び調剤したのがはじまりとされています。元禄三年（一六九〇年）に公が江戸へ参勤の折り、たまたま千代田城内においてある大名が、にわか腹痛をおこし苦しむのを見て、正甫公が印籠から反魂丹をとり出しすめたと、たちまち治ったので、列座の各藩主がその効験に驚き、ぜひ反魂丹を自領内に売り広めて欲しいと依頼されました。

そこで正甫公は、城下の薬種商松井屋源右衛門にこれを調製させ、八重崎屋源六をして諸国に行商させました。

源六は、「用を先にし、利を後にせよ」との正甫公の精神に従って配置員を指導し、全国くまなく売り広めたのが、富山薬業の起源といわれています。

これがいわゆる「越中富山の売薬さん」として親しまれているのです。

配置販売の方法とは、あらかじめ医薬品を消費者の家庭に預けておき、次に訪問したとき、その間に使用された薬の代金をいただく方法で、消費者との信頼関係があつてはじめて永續する商法です。



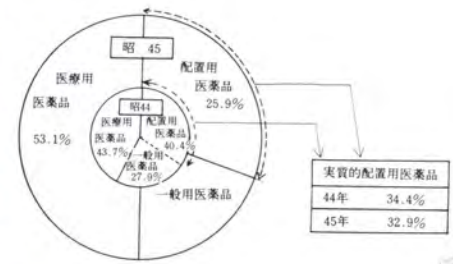
富山薬業の始祖前田正甫公の銅像

# 2 製薬企業の現状

## (1) 医薬品の生産

富山県の医薬品の生産は、年々増加の一途をたどっており、昭和四十六年の最終製品の生産は約二六〇億円に達しようとしています。四十二年以降の伸び率は毎年二〇割以上で全国の伸び率を大きく上回っています。

最近二・三年間の傾向としては、医家向医薬品の生産が急上昇しており、この傾向はなおしばらく続くものと考えられています。



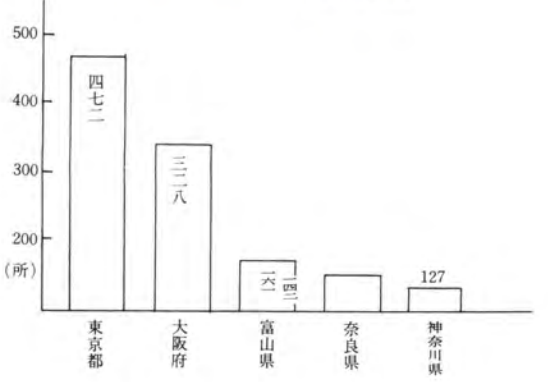
## (2) 医薬品製造業

明治以降、配置業者を含め数千人を数えた売薬業者は、次第に協同、結社して製造をはじめようになりましたが、昭和十八年、戦争が激しくなるにつれ、国の方針で千数百の生産企業は一四に統制、縮小されました。戦後は再び細分化がおこり、昭和三十年前後には二〇近くに達しました。

その後、経済、社会情勢の変化と国や県の合併、協業化などの指導のもとで次第に減少し、昭和四十七年一月一日現在、一四二社の医薬品製造業者中、主として配置家庭薬を製造している企業は一〇八社となりました。そのほかは、主として店舗むけのメーカーが一家、医家むけメーカーが四社、原料医薬品メーカーが一〇社、残りの九社はその他の特殊形態のメーカーです。

なお、医薬品製造所数では、昭和四十七年一月現在、一五七工場で、東京、大阪に次いで第三位を占めています。

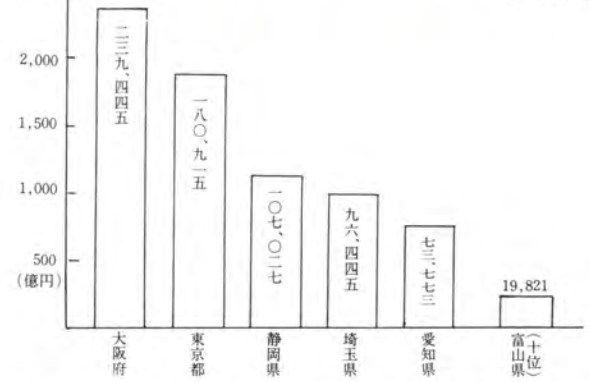
医薬品製造所数 (1位~5位) 全国製造所数 2,382所 昭45.12.31



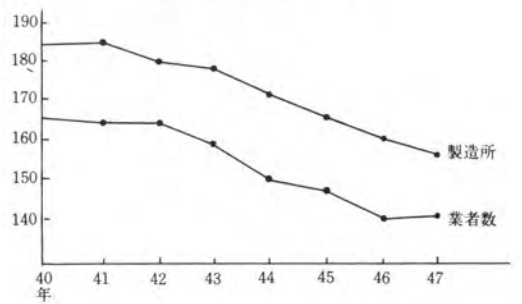
医薬品生産額 (最終製品) (単位: 百万円)

年次	全国		富山県	
	生産額	対前年比	生産額	対前年比
42	563,257	111.1	7,975	124.6
43	688,953	122.3	10,240	128.4
44	842,514	122.3	15,986	156.1
45	1,025,319	121.7	19,821	124.0
46			25,777	130.0

医薬品生産額 (1位~5位) 全国生産額 1,025,319百万円 昭45.12.31



富山県の製薬企業の増減



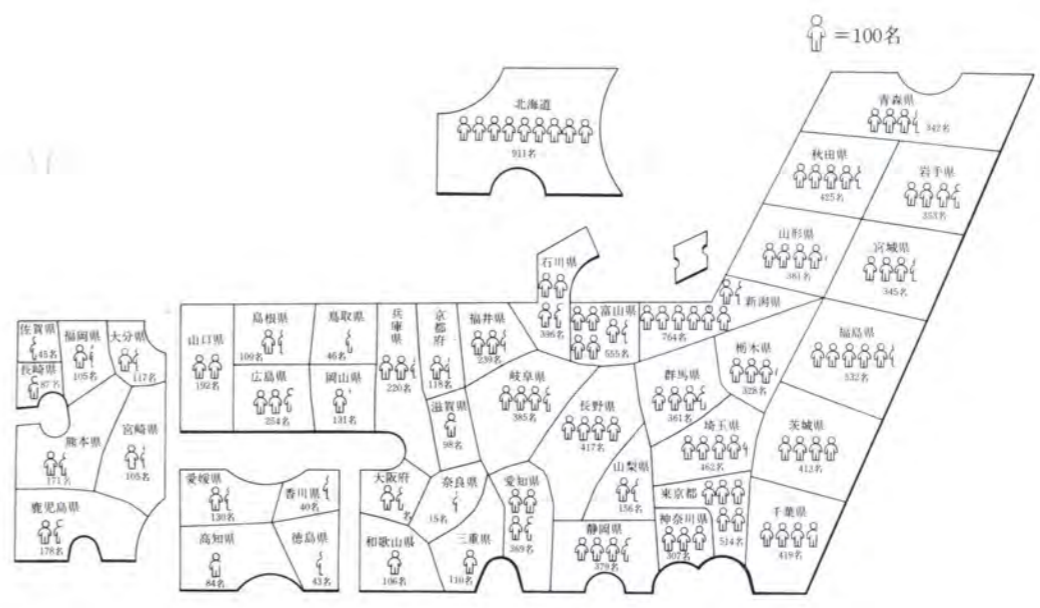
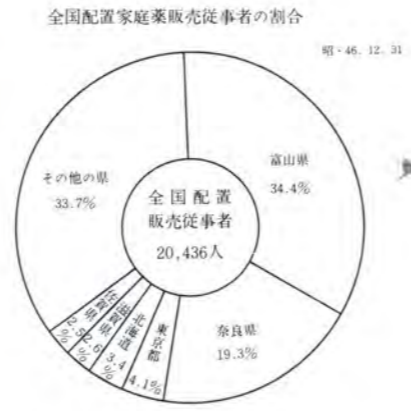
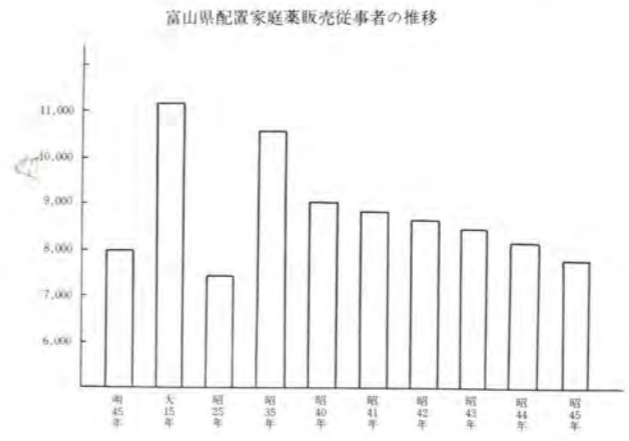


# 3 配置販売業

## (1) 全国第一位の配置従事者数

富山県の配置販売従事者数は、昭和四十五年まで、七、八九〇名となり、全国都道府県に広く回商し、配置の特殊性から農山村だけでなく、都市でも「とやまの置き薬」として有用性が認められ愛用されています。

最近、他の産業と同じように若年の後継者が得がたく、また、他県の営業地で長期滞在するといった二重生活のため、住居を営業地に移転する者もでており、本県に住所を有する配置従事者は、次第に老令化して、減ってきています。



## 富山県配置家庭薬販売従事者分布図

## (2) 勉学する配置員

### の活躍



配置従事者の資質は、富山県薬業の信用に重大な影響があるので、新たに配置に従事しようとする人は、薬業講習所で一五日間の講習を受け、県知事の発行する身分証明書をもたなければならないようにしています。

このほか、薬業講習所では高等課程や地区ごとの再教育講習会を開催し、また、全配置従事者を対象にした「薬業通信講座」を発行して配置従事者の資質向上を図っています。

## (3) 配置員青年部の

### の活躍

業界には昭和四十二年から配置員青年部が結成され、(会員は、一地区で千五百名) 会員相互の知識の研さんと親睦を図っています。その活発な活動は、業界発展の推進役として、今後に大きな期待がかけられています。

**薬業通信講座**  
勤告に生命を身えよ

富山県薬業青年部が主催する「薬業通信講座」は、薬業の発展のため、配置員相互の知識の研さんと親睦を図ることを目的として、昭和四十二年から開催されています。この講座は、薬業の現状や将来の展望、配置員としての責任と役割、また、健康増進の重要性などについて、専門知識を豊富に持つ講師から学び、配置員としての資質向上を図るための重要な機会です。

① 薬業の現状と将来の展望  
② 配置員としての責任と役割  
③ 健康増進の重要性  
④ 配置員としての資質向上

この講座は、毎月一回開催され、参加費は無料です。興味のある方は、富山県薬業青年部に問い合わせください。



# 県政のうごき

3月11日～4月10日

## (4) 努力する 製薬企業

最近、医薬品の製剤技術の進歩はめざましく、種々の剤型を考案し、各種疾病に対し、合理的、科学的に使用され、疾病の診断、治療など国民の保健衛生の向上に大きな役割りを果たしてきました。

しかし反面、サリドマイド、ペニシリン、近くはチクロ、キノホルム、ビチオノールなどの「副作用」が社会問題化し、また、アメリカのF・D・Aがすでに承認された品目の洗い直しを行なったと同様に、わが国でも承認品目の再検討のため、「薬効問題懇談会」が設置されました。医薬品の安全性と有効性が社会問題になり、医薬品の品質管理、広告の規制など消費者保護を中心の施策が、国民から強く望まれています。

最近、業界内には激動する経済、社会環境に対処するため、体質改善を図り、技術面については薬事研究所あるいは富山大学和漢薬研究施設の指導協力のもとに、新製剤の研究や技術者の養成、試験室の整備など効きめがすぐれ安全性の高い医薬品の生産、開発に努力を向ける企業がふえています。

これらの企業の中には配置むけ医薬品だけでなく、医家むけ医薬品、店舗むけ医薬品も生産販売し、医薬品メーカーへ転換を図った企業もあります。とくにこの二・三年、医家むけ医薬品の生産は急激な伸びを示し、これに刺激されて医家むけ医薬品の生産をはじめた企業も十数社あります。

一方、配置むけ医薬品の製薬企業の中でもいままでのような帳主（配置販売業者）の共同作業場的な製造からぬけだして、現代的な管理体制を整え、企業の体質改善に、地道な

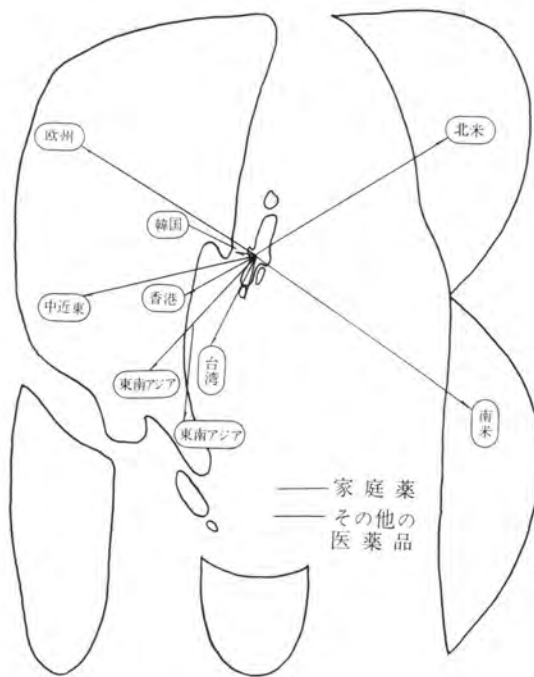
努力を重ねている企業もでてきています。

## (5) 海外への 販路拡張

富山県の家産薬は戦前、満州、支那、朝鮮、台湾、南方諸地域へ相当量が輸出されていましたが、終戦とともに皆無に帰してしまいました。

その後は、東南アジア地域を主として、家庭薬が欧州、北米を中心に原料医薬品が輸出され、現地の各国とのきびしい競争の中にあつて輸出が続けられております。

富山県の医薬品の主な輸出先



富山県の医薬品の輸出状況

区分	年別		
	43	44	45
家庭薬	千円 200,704	千円 203,388	千円 239,100
その他医薬品	733,816	1,255,941	1,767,657
計	934,520	1,459,329	2,006,757
対前年比	% 103.5%	% 156.1	% 113.6



定例議会閉会



富山インター用地買収調査



春の交通安全運動

### 三月二日 植樹祭は四ヶ所

県緑化推進委員会は、ことしの植樹祭を大沢町の中央会場のほかに朝日、小矢部、上平の三市町村で同時に開催することをきめた。

### 三月一八日沖繩に求人開拓

ことし五月、本土に復帰する沖繩を新しい求人開拓地にするため、県の直江商工労働部次長らが訪問、琉球政府労働局、各市職安へ県内企業の紹介と求人依頼をすることにした。

### 三月二日 定例議会閉会

二月定例県議会は四十七年度一般会計予算など八十四案件と、大谷技術短大の名称変更、監査委員選任同意の追加二議案を原案通り可決、林業振興に関する件など二つの意見書の採択、松沢六郎氏を新議長に選任して二十三日間の会期を閉じた。

### 三月二八日 富山インター用地買収調査

北陸自動車道、富山インターチェンジ富山市黒崎地内での用地買収交渉がまとまり、県庁で中田知事と地主の間で覚え書きに調印した。

富山インターチェンジは総面積一十一万七〇〇平方メートル、延長五六〇メートルでトランペット型のインターとなる。完成は昭和五十年。

### 三月三〇日 環境保全協定に調印

富山県と三井金属鉱業は、東京・平河町、都道府県会館で、神岡鉱業所からのカドミウム汚染にとまなう「環境保全等に関する基本協定書」と「汚染米対策に関する覚え書き」に調印した。

県が企業との間で締結した公害防止協定は住友化学、北電・富山共同火力についてこれで三回目。

### 三月三十一日 設備投資は一・二%減

県内主要企業の四十六年度設備投資（実績見込み）は、景気沈滞の影響をともに受け前年比伸び率が一・二%減と大はばにダウンした。

### 四月四日 市町村長会議ひらかれる

富山県と県下の市町村長との年度初め行政打ち合せ会議が県民会館で開かれた。

会議には県側から部長以上、市町村側は魚津市を除く三四市町村長が出席、中田知事のあいさつと各部長から市町村長に關係する新年度の県行政を説明のあと質疑をかわした。

### 四月五日 小学校入学式

県下小学校の入学式が行なわれ、一万四、六六六人（県教育委員会調べ）と前年度より

七二三人少ない新入生が門をくぐった。

### 四月六日 春の交通安全運動

春の全国交通安全運動は、六日からスタート。ことしは一日までの一〇日間、各日ごとに目標設定をきめて実施。

初日は、「首長の街頭指導と視察の日」で、県内七カ所につくられたスクール・ゾーンで山口県警本部長、塩谷公害部長らが実施状況を視察した。

### 四月六日 公害調査結果

県の公害部は北電と共同火力発電所との間で結んだ、公害防止協定にもとづいて、ばいじん、窒素酸化物について調査した結果を発表した。

ばいじん濃度は、協定の四分の一程度、窒素酸化物も問題はなかった。

### 四月一〇日 北洋へカニ漁第一陣

富山県から北洋漁業に行く第一陣として、北洋海域のカニ漁に出漁するため、魚津港で準備していたカニガゴ漁船四隻が、基地の北海道函館へ向け出港した。



# いよいよの富山県予算

県政についての念願は、人間性豊かな高度福祉社会を築くことにあり、愛と繁栄の県政を基本的な心構えとして、

住みよい富山県をつくる  
富山県に繁栄をもたらす  
若い世代を育てる  
の三大施策を積極的に進めています。

## ◇住みよい富山県をつくる(三九九億円)

緑の空間に澄んだ空気が満ち、清らかな水が流れる生活環境の中で、県民の安全、健康で快適な生活を確保するため、社会福祉と保健衛生の充実、生活基盤の整備、自然環境保全対策の強化、交通網等の整備促進、県土の保全、社会教育や芸術文化の向上、社会環境の浄化など、県民がひとしく健康で文化的な生活が営めるよう努力しています。

社会福祉施策としては、「谷間に光を」もたすため、七十五歳以上の老人の医療費の無料化を、国に先がけて実施するなど、老人福祉の向上に重点をおき、社会福祉施設の整備充実、制度の改善をはかっていくこととされています。また、食品監視機動班を充実し不良食品の一掃をはかり、地域医療ネットワークづくり、看護婦養成の強化など、医療保健対策に力を入れています。

生活基盤の整備をはかるため、公害防止と生活環境の保全に力を入れます。このため、公害防止計画により計画的対策を実施するとともに公害センターの新築と機器類を大幅に整備拡充します。また、大気汚染防止、水質

保全、産業廃棄物の適正処理の指導監督及び常時監視体制の強化をはかります。生活環境の整備としては、過疎対策、消費生活の合理化を促進し、さらに水資源の有効利用度を高め、上下水道を整備拡充します。

自然環境を破壊から守ることにとどまらず県土全体を緑で包むグリーンプランを推進しており、なかでも県民の憩いの場として自然を生かした大規模県民公園及びグリーンベルトの早期完成をはかり、制定準備中の自然環境保全条例による対策と相まって、快適な環境づくりを推進する計画です。

また、交通網の整備を促進し、安全で円滑な交通を基調とする生活の向上、災害から県土を守り、安心して住め、活動できる環境を作りだす努力を払っています。

さらに心の豊かな人間を育てるため、社会教育、芸術文化を振興していくとともに、社会環境の浄化活動を推進します。

## ◇富山県に繁栄をもたらす(三六三億円)

本県は、わが国のはば中央に位置し、大陸を指呼の間にのぞむ重要な位置を占めています。県の繁栄は京浜、中京、阪神などの大経済圏をはじめ他地域と結ぶ動脈の強化の成否にかかっていると云えます。このため、北回り新幹線の実現に関係県とともに総力を傾注する一方、北陸自動車道、東海北陸自動車道の早期建設に努力を続けています。

農林水産業は、やはり今後とも本県の主要産業です。農業の基本方向は、あくまでも水稲を主軸

に、野菜、果実、畜産など、需要の伸長が見込まれる部門を積極的に振興し、優良で豊富な農産物を供給、食料基地としての地位を確固たるものにするとともに、経営の近代化、高度化を促進することにあります。とくに、本県の兼業農家は全国でも最も高いクラスにあり、農業及び農村環境の近代化を促進するため、緑の中の工業として、農村都市を建設すべく農工一体化事業を進めています。

水産業は、漁港及び施設の整備、育てる漁業の振興、沿岸漁業の改善対策に力を入れ、また遠洋漁業を振興します。

商工業の発展と貿易の振興をはかるため、既存企業の育成、企業誘致の推進に努めます。とくに経済環境のきびしい中小企業の体質改善を積極的に援助します。とくに本県の重要産業である薬業については、業界が策定する構造改善計画に協力し、新しい市場の開拓を進めます。

また、工業用地、工業用水道、港湾など産業基盤の整備拡充に力を入れます。富山新港背後の臨海工業地帯造成事業は、二八〇万平方メートルの造成済用地に二二企業(一六三万平方メートル)の立地を見込んでいますが、昨年度末には用地買収も完了したので、貯木場築造工事と木材団地の造成を始め、企業の早期立地に万全を期しています。

## ◇若い世代を育てる(二三一億円)

まず、学校教育は、生涯を通じて人間形成の基礎を培い、ひとりひとり個性に適したそれぞれの能力を、十分に発揮できるよ

## ■住みよい富山県をつくる… 399億円

(35.7%)

- 老人福祉・心身障害者福祉の充実
- 自然環境の整備

## ■富山県に繁栄をもたらす… 363億円

(32.5%)

- 基幹交通網の整備
- 農林・水産・商工業の振興

## ■若い世代を育てる… 231億円

(20.6%)

- 学校教育の充実
- スポーツ振興

47年度一般会計予算財源



健康で明るい県民生活を築くためにはスポーツの振興は欠くことはできません。このため学校体育施設の開放をいっそう促進し、体力テスト相談事業を充実し、体力づくり意識の高揚をはかっていきます。

とくに、昭和五十一年二月に、第三十一回国体冬季スキー競技会を誘致開催するよう、施設の整備、運営面の組織化などについて準備を進め、これを機会に、本県の冬期スポーツの飛躍的な振興をはかる考えです。

以上の基本方針に基づき編成した昭和四十七年度の子算は、一般会計九〇五億円、特別会計二一四億、総額一、一一九億円が前年度対比一六・一％の伸びとなっています。

◇常に県民とともに  
県の進路を示し、努力目標として、昭和四

う配慮してその充実に努めます。このため、へき地過疎地域の教育の振興、教職員資質の向上、学校施設の整備拡充をはかります。また、青少年を健全に育成するため、スポーツ活動を振興し、文化活動や団体活動を活発にすることに努め、こうした活動の中で青少年の心に社会の一員として自覚と責任、社会連帯の意識の育つことを期待しています。

昨年、第一回の「青年の船」として韓国などを訪問した青年達は、その体験を生活に地域活動に生かして活躍しており、かなりの成果があったので、四十七年度にも第二回「青年の船」をシベリヤ、モスクワに派遣する計画で準備を進めています。

また有峰、二上に続き黒部市に「青少年の家」を建設し、青少年の健全育成をはかっていきます。

十五年に第四次県勢総合計画を策定しました。これは、昭和六十年代に求める「価値ある県民生活」の実現を期すもので、県政の基本です。しかしながら、めまぐるしく変わる諸情勢の変化に対応する弾力的な態度をもって実効ある施策を実施し、常に県民とともに歩む立場にたつて「愛と繁栄の県政」の実現にまい進していくことを信念として努力しているところですが、

しかしながら、物価問題をはじめとして、県民の力のみで解決のむづかしい問題も数多くあります。今後さらに県民とともにその解決に英知と力のすべてを傾注するとともに、国、関係県ともどもその対策にためまぬ努力を続けていかなければなりません。



津波、桜うぐい、その本、芽田池  
 に、ずいぶんあつた、ついでと、いふ、  
 小矢部川、公言と、きいたが、...

内多藏人

スルスルと水面を走る川船から  
 手練の投網が開いた  
 桜うぐいの群が踊り  
 遠くの瓦屋根に緑が映える  
 子持ち魚をソツとはなしてやる  
 漁師の影が小矢部川の流にゆれた

美しい流れをいつまでも



内多藏人(うちだ・くらんど) サッポロ  
 ビール社長。明治三十六年、富山県高岡市に  
 生まれる。六十八才。東京商大(一橋大)卒  
 業後昭和二年大日本麦酒に入社。以来、販売  
 一筋を歩き、常務・副社長を経て、昨年二月  
 社長に就任。「販売の鬼」「ライオン」など  
 のニックネームが示すように、ビール業界で  
 は珍しい積極果敢な動きで各方面から注目を  
 浴びている。  
 人柄は温厚。交遊関係も広い。広い競馬場  
 で、いい空気を吸いながら浩然の気を養うの  
 が楽しみ、という。







# 大山国体スキーをかえりみて

第二七回国民体育大会冬季大会スキー競技会は、「自然と創造との調和」を主題に、去る二月二〇日より二三日まで、鳥取県の大山スキー場で開かれました。この大会に本県から、戦後最大といわれる三五名の選手団と一八名の視察員が派遣されました。

昭和五十一年に、冬季国体スキー競技会を誘致しようとしていたので、見るもの、きくことと全てが今後の誘致準備に生かされるとあって、選手役員も視察員と一体になって、努力してきました。

国体開催地にはそれぞれの事情があり、単純に県の現状とくらべることは必ずしも良いことではありませんが、今後の参考にするため、鳥取県大山国体をふりかえりながら、富山県がめざす昭和五十一年の冬季国体スキー競技会の誘致準備にもふれて話をすすめていきたいと思います。

## ①会場の条件

鳥取県大山スキー場は、米子市からバスで約一時間、風光明媚な国立公園大山の中腹にあつて、西日本随一の規模を誇るもので、大小さまざまなスキー場がいたる所にあります。県が国体開催の候補地としていたる極楽坂スキー場は、全日本スキー連盟役員に、コース予定地を調査依頼しました。調査の結果、大回転コースは国体コースとしてはA級のコースがとれ、先催県の岐阜県流葉や鳥取県大山よりも良いコースになり、ジャンプ台や距離コースの子定地も問題はないということでした。しかし広さの点で問題があると思われるスキーヤーは存分に滑れないということになると思われま

## ②式典、競技の運営

開会式は豪雨でスキー場広場で行なわれましたが、プラスチックや合唱隊が斜面を利用

し、雪で固められたスタンドに位置したこと、ブラカードは鳥取県特産の二十世紀梨の形と色でつくられたこと、また、常陸宮・同妃殿下のお席の仮設の天幕張り台も梨の色が用いられたことなど、いろいろな心配りがありました。

その反面選手集会所から開会式場まで雪のこぼれ道であり、開会式場も斜面になっていたので、前に行進した選手のおとは雪道が踏み固められて滑り、行進がだらだらと続いたこと、また開会式場が広く、周囲がスタンドでないため、会場の雰囲気を感じることができなかったようでした。

競技運営面で、今年は異例の雪不足のため関係者は並ならぬ苦労をしたようです。大会の開催実施が本決まりになったのは五日前の二月二十五日でしたが、その後も雪は降らず五六四名の自衛隊員による昼夜献身の雪運びが行なわれました。

競技役員は約五〇〇名で、スキー連盟役員

だけでなく、陸上競技・自転車・山岳など他の競技団体役員、さらに学校の教員にも協力を依頼したようです。この点は本県でも同様の対策が必要ではないかと考えています。

競技運営面は、記録の正式発表がきわめて遅く、夜、選手が寝静まった十一時近くになってから宿に配布される日もありました。プレスセンターとなった「ホテル大山」は取材と発信、宿泊が同一場所ということで、二五〇名の報道員から感謝されています。

本県として競技運営面での不安は、飛躍競技の審判役員が一人もいないということで、今後、講習会を開催して積極的に養成を図らねばならないということ、プレスセンターをどこにするか、記録本部の設置場所とあわせて考慮すべきだと思います。

## ③選手の活躍について

冬季国体スキー競技会の成績上位県は、例によって北海道、信越、東北勢でした。

開催の鳥取県は男女総合第一五位、来年開催する新潟県は第二、富山県は参加都道府県中無得点県二一県の一つでした。しかし、個人別では、大回転競技成年の部出場の斉藤君（房治荘）が出走二〇八名中第一九位、距離競技少年の部出場の藤井君（福野高校分校）が出走一四五名中第二八位と入賞まであと一步という好成績をあげ、他の選手も中位に入っています。また、純飛躍成年の部に出場の前選手（大山町体協）は、札幌オリンピック選手である笠谷選手（北海道）や板垣選手（新潟）などに混って健闘し、六〇人中第三三位の成績でしたが、これを教員の部の成績に置き換えると、第二位又は第三位に相当する立派なものでした。

## ④宿舎について

大山は四季を通じての観光地であり、宿舎はすでに整備され、旅館は三八軒、寮は二二軒、食堂を兼ねた民宿一六軒、計七五軒もあり収容可能数は四、五〇〇名ということ



した。

選手団宿舎は、スキー場から近い距離にあり、しかも都道府県単位であったので好評でした。しかし、鉄骨鉄筋以外のものは暖房施設が充分でなく、やや寒かったようです。とくに、かつての宿坊を旅館にしているところは、乾燥室も不備で問題があったようです。スキー競技は、選手団の荷物がかなり多いので、できれば一人一・五畳の基準より多いの配慮が必要と考えられます。また、宿舎で選手団のほか視察員、関連業者の出入が多いので、管理のあり方を検討する必要があります。

## ⑤交通輸送

宿舎から大山スキー場までの道路は、国体スキー競技会の準備前に完全舗装されて、選手の輸送も一部地域に限られたので、実際には問題がなく、スキー場から遠く離れている選手団用に、朝夕無料バスを運行していました。

この点、本県で開催となれば、スキー場か

ら遠距離の宿舎にとまる選手もあるもので、選手輸送計画と、道路整備計画をあわせて検討しなければならぬと思います。とくにバスのすれ違いができる幅員は確保し、また、駐車場の整備も併行してすすめる必要があるかと考えています。いずれにしても、道路の整備については、単に国体対策だけではなく、町発展の基本構想に含めて配慮されねばならないと思います。

## ⑥大会のP・R

広報活動はボスターのほか、町報や新聞に特集号が発刊され、地元民はもちろん、県民に理解と協力を深めておりました。また、大山讃歌が公募され、大山中学校三年生の作詩「わが心の山」が採用になり、作曲してデュークエイセスによってレコードに吹込まれ、開会式にも披露されたことは、大山国体に参加した人々にすばらしいプレゼントになったと思います。

今回の鳥取県は大山町であり、本県で開催誘致をすすめているのは大山町であります。第三一回大会を何と呼称してよいか、今後検討していきたいことです。

## ⑦本年度の誘致事業について

本年度は六月に開催申請書を文部省と日本体育協会に提出し、正式に開催誘致の手続きをします。

競技施設については、ジャンプ台候補地の調査と設計、それにコースの整備にかかり、また、選手強化練習会と審判講習会を積極的にすすめる、11月の全日本スキー連盟評議員会で内定していただく予定にしています。

競技施設や、道路、旅館にしても、冬季国体の誘致開催を機会に、将来の地域開発に役立つよう整備計画を立てなければならぬと思います。



# 風俗百年

## たべもの

「米を食うべからず。雑穀を食うべし」と米の少ない明治のはじめまで、越中の殿様は百姓たちにおふれを出していた。当時の常食は麦やくす米の雑炊で、白いご飯は、盆か正月やお祭ぐらいのものであった。

越中に洋食がはいったのはいつごろからであろうか。明治四年には、富山の越前町に牛肉屋が出現している。越中では、仏教の影響もあってか、四ツ足を食うと頭に角が生え、モウとなくようになるといつて嫌われていたものである。十五年には搾乳業が富山にあらわれている。全国でも早い方である。もつとも牛乳は、わが国では聖徳太子の頃からすでに飲用されており、どちらかと言えば病人の

体力回復のための栄養剤の利用だったらしいものと同じ十五年には牛乳取締規則が公布されている。商いのつらいところである。

スイカは明治二十年、リンゴは四十年、ジャガイモは四十一年、キャベツやホーレンソウは明治の末頃に本県にはいった記録がある。ビールやぶどう酒も明治の末に飲まれるようになった。しかし、大衆化したのは、大正から昭和にかけてのことらしい。

この頃になると、大衆食堂が誕生し、喫茶店ができ、バーやカフェも生まれている。そこでは白いエプロン姿の女給という新職業ができ、ハイカラさんはコーヒーや洋酒をたしなむようになった。大衆食堂では、コロッケ、ライスカレー、オムレツなどが普及し、一般大衆の目にかタカナのメニューは新鮮にうつり、流行歌にもなつて津々浦々に浸透してい

った。菓子類は、砂糖が出回わり、干菓子、蒸し菓子、まんじゅう、落雁などの甘味が増し、あんパン、キャラメル、カステラ、ビスケット、チョコレートなども、新しがり屋に喜ばれ、石鹼を菓子とまちがえて嚙ったという落し話などが生まれている。

昭和十二年頃から食糧は軍需にとられ、米どころの富山県にも波及し、十四年の米穀統制法十五年の砂糖統制令、十六年に米が国家管理となり、配給米も一日一人三合から二合へ、運配欠配、ついには買い出しで露命をつなぐ状態となったことは記憶も新たなところ。当時、人間とはなんでも食べられる動物であることを発見した。イナゴ、バッタ、雑草、木の葉も食物史の貴重な資料である。

この飢餓時代も二十五年頃から緩和され、三十年頃から豊富潤沢時代にはいり、家の中でも外でも、洋の東西を問わず、過去から宇宙食まで、地中海産の鯛を焼き、南米のパナナが間食となり、季節性がなくなった。

味の方もインスタントとなり全国一律となり、越中の国の伝統の食品類は、家庭から次第に姿を失っていく。わずかに、枕形をした大きな黒部スイカ、ホタルイカ、カニ、マスのすし等々、いくつものものが、名物として残されているに過ぎない。百年とは実に長い月日である。

食酢は、調味料の一つとして、古くから生活に欠くことのできない役割を果しています。その食酢を、次にあげる二種類に分けることができます。

### 〈食酢の種類〉

#### 1 醸造酢

米、麦、酒粕、果実、種酢などを原料とし、発酵させたもので、合成さく酸を使っていないもの。

#### 2 合成酢

合成さく酸を水で薄め、これに化学調味料や甘味料を混ぜ合わせたもの。または、合成さく酸と醸造酢とを混合したもの。

### 〈公正競争規約による標示事項〉

#### 1 種類別名称

2 酸度 「酸度〇〇%以上」

#### 3 使用方法

酸度12%以上の食酢については、うすめて使用する旨。または、うすめる倍数。

#### 4 原材料名

使用量の多いものから順に

5 製造所の所在地、製造業者の氏名

#### 6 製造年月日

#### 7 内容量

8 醸造酢を10%以上含む合成酢は、含まれている醸造酢の割合を10%単位で「醸造酢〇〇%」と書いてあってもよい。

9 米酢、麦芽酢、粕酢、リンゴ酢、その他の使用原料名を表わす文言は、醸造酢についてのみ。

10 ビネガー、Vinegarという文言は、醸造酢についてのみ。

これ以外に、合成酢を醸造酢と誤認されるおそれのある標示をしてはいけないことになっています。



食酢が、人間の体内にできる疲労物質である、乳酸や焦性ブドウ酸を除去し、新陳代謝をおう盛にして、体内にエネルギーを蓄積するという重要な役割を果すことは、クレイプス博士によって立証されていますが、これは醸造酢についてのみいえることです。

## 食酢のみどころ







ご質問に  
答えて

問

ことしの県予算は、景気の後退で税金の収入があまり期待できないと聞いています。それでいて、福祉面の充実など多くの課題があると思いますが、県債七億円は、財政的に負担が大きすぎるのではないのでしょうか。

こたえ

県債は、家庭の借金と同じように理解されがちですが、性質は非常に異なります。ことしの予算で県債は、昨年比で約一七億円の増となっていますが、これは景気回復をうながすためにも、増加したものです。国や県で公共事業に大幅に投資することによって、投資の「乗数効果」といって、たとえばダムを造るのに投資されると、一部は資金に支払われ、他は原材料などの購入にむけられます。資金は消費者の所得をふやす一方、生産財に支払われた分もそういった物をつくつ

ている人々の所得をふやします。こうして徐々に波及して需要が拡大され、最初に投資した額の何倍もの国民の所得の増加にはねかえってくることです。

県民の所得がふえて、景気が回復してきますと、税収入もあがり、それによって県債を償還していくこととなります。

また、一つの考え方として県債を発行して公共事業に一度投資すると、何世代にわたって場合によっては、百年以上効果がつづくものがあるのです。現在の人の収入からあがる税金のみを財源とするのは適当でなく、長い期間かけて償還する公債を発行すべきだというのがあります。

ともかく、予算の執行にあたっては、一日も早く、効果的に執行するため、年度のはじめに重点的な支払をすることにより、景気の早期回復の一助になるよう考えています。

# 点滴



## 自由と責任

ロンドンのバスは後部が開いており、床も低くなっていますから、スピードが落ちれば簡単に飛び乗れます。

ところがその側面には、「進行中のバスに飛び乗り、飛び降りるをなさるかたは、ご自分の責任においておやりなさい」と書いてあります。だから事故は起こりません。情緒的な日本人ならたちまち、冷たい市当局の思いやりのなさなどが追及されることでしょう。

またイギリスでは、赤信号でも道路を横断してかまいません。つまり、赤信号は車に優先権があるということで、事故が起きれば、法律上の責任は、すべて歩行者側にあるというだけのことです。

自分の身は自分の責任において守るといふ原則が働いており、

自由とひきかえに責任を課しているわけです。その結果は驚くほど事故が少ないのです。

しかし、ルール違反を正当化するようになると危険です。暴力学生を動機において理解してやらねばならぬとして、彼等の傍若無人なやり方を合理化しようとする人がいます。動機を理解してもらえぬなら何をしてもよいとなれば、ルールを守って真面目に生活している多くの人はどうなるのでしょうか。

暴動の表向きの理由となつているものは、部分的に正当な理由があつても、どうも根本的な理由とは思われません。誰の責任かはともかくとして、国の制度には確かに欠陥があります。しかし学生の反抗は必ずしもそういう欠陥に向けられてはおらず、今やこの反抗を学生としての生き方の一部と感じているようです。反抗しなければ、教育の過程において何かを失うことになると感じはじめているのではないかとさえ思われます。

若者はいつまでもぬくぬくとそういうムードにひたつて一方的に告発させられておればよくて

責任はすべて社会や管理者にかぶせていけばよいのでしようか。今の私達に要求されるのは、皆が平等に責任をもつということであつて、攻撃しやすい管理者側の責任だけでなく、攻撃しにくい被害者側の落度やルール違反をも同時にきびしく見つめる態度だと思ひます。

それは情緒的な日本人にとつて酷にみえるかもしれませんが結局は、安全で住みよい社会を作るうえで必要なことではないでしょうか。

永森みえ子

(家事手伝)

富山市総曲輪4丁目6の8

## 最近特に感ずること

私はここ数年、特に村の方々の接触が多くなり、各種の機会に出席して感ずることは、一見平和に見える部落も内に入つてみると、さまざまな問題を持つていふことが分りました。部落という一つのまとまった

共同体の中で、一つの問題を協議してもお互いの意見がまちまちでその解決はすこぶる困難となります。中でも解決のしにくいのは、町や県などで計画される公共的事業（河川改修、道路の新設とか、要するに住民の生活源としての土地、経済に影響を及ぼす事から）についてであります。

もちろんこうした公共事業は地域の産業を開発し、住民の福利を進めることでありますから原則的には一応賛意を表しますがいよいよ実施の段階になるとそう簡単に納得されません。

それは部落の人々が自分たちの生活をより豊かにし、より合理化するための切実な要求の結果と考えられますが、また一面科学の進歩に伴う機械文化が農村を圧迫し、経済的にも精神的にもゆとりのないきびしさの中に、生きていくということもあらうと思ひます。

さらに観点をかえてみますと地域開発という理想が前進してこれにつづく一般民衆がその理想についていけない自らの弱さ——変貌する農村の現実にとま

どいを感じているあせりから、現実の農村の姿に悲観的となり生産意欲の減退と、今後の対策が立てられない肉体的精神的な弱さ——が相手に対する反撥となり、お互の反目となりそしてそれが憎しみにまで発展するようなどいにもなるようです。

そして結局無理押しをした者が勝つたというような感じに終つてしまい、後味の悪い結果として、いつまでも不平と不満がしこりとなって、明るい社会建設への障害となつていふように思われてなりません。

私はこのような事から、社会における人間的な精神の貧困さと、農村に対する指導理念の確立されていぬ政治の貧困さを痛感します。何とかして豊かな人間性の開発と、暖かい政治への配慮が、きめこまかに行なわれるよう切望します。

西砺波郡福光町田中

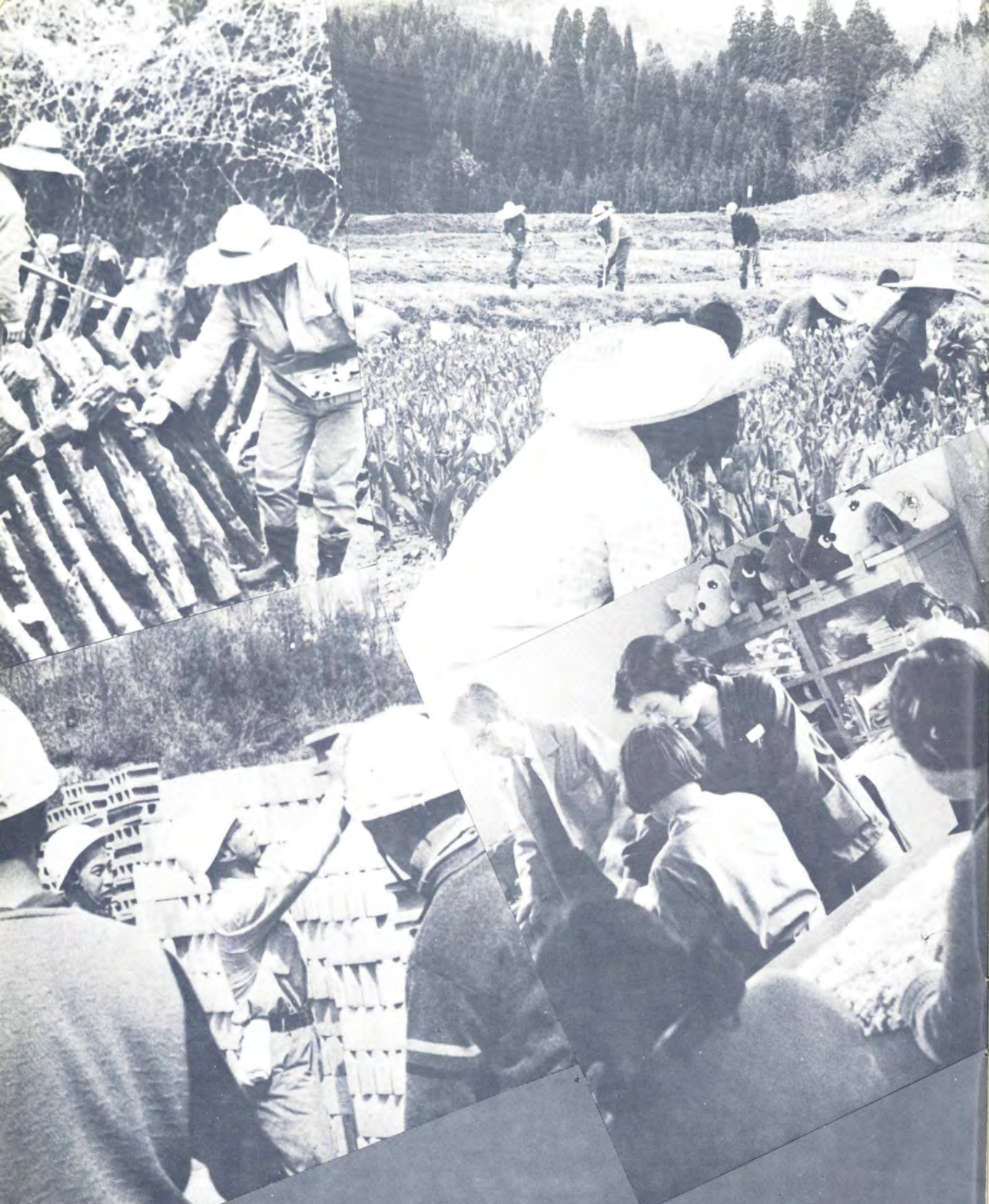
得地 正吉



# 新生園

自立をめざす若者たち，精神薄弱者の更正施設。入所者に適切な指導と訓練にあわせて，健康を守るためのすばらしい自然環境は新生の園にふさわしい。

そこでは毎日の生活習慣をつくりあげ，自立して，社会生活ができる作業指導がたんねんに行なわれている。



- ①春の野に 私が育てたチューリップがゆれる
- ②シイタケがとれた
- ③先生を中心に，作品展の計画がすすめられている
- ④ブロックづくりは1人前，積みあげたブロックの山に自信がわいてくる

カメロボ



# レクリエーション ユナズ

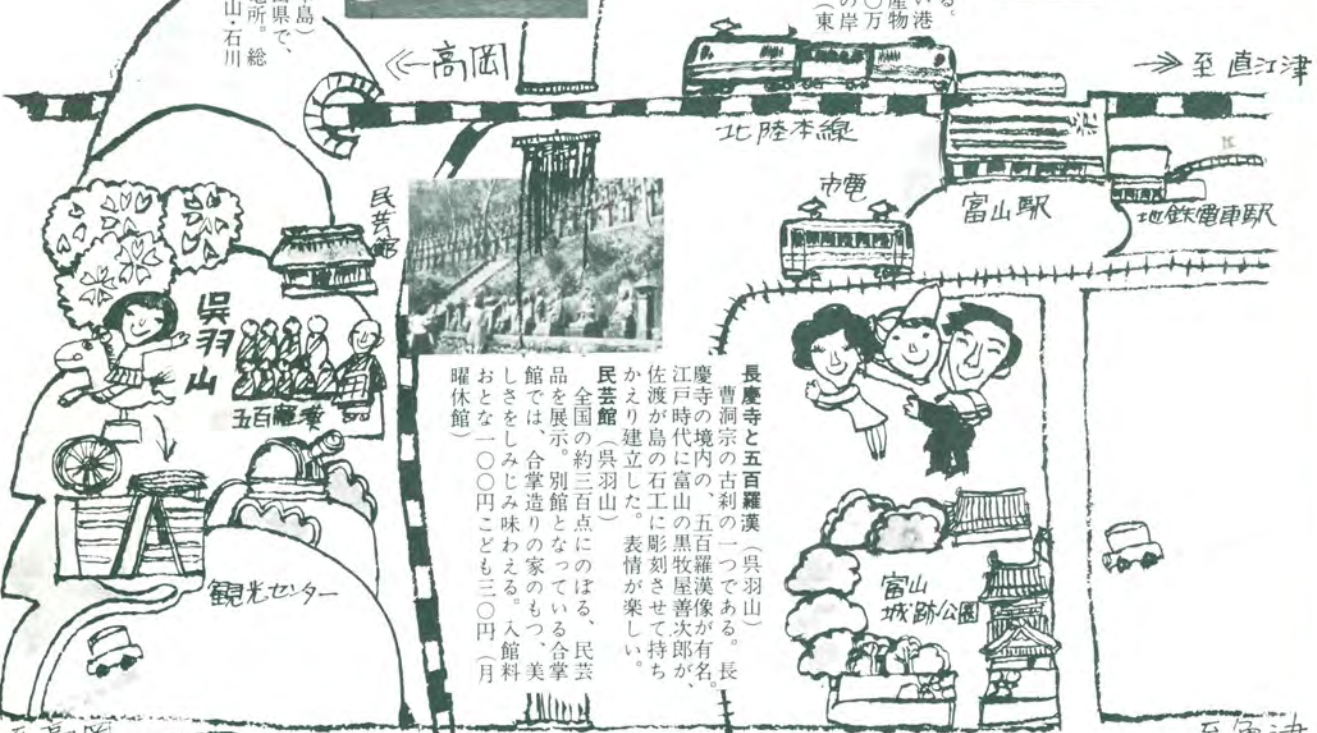
富山火力発電所(富山市草島)  
水力発電のさかんな富山県で、  
最初につくられた火力発電所。総  
出力は八一万二千キロワット。富山・石川  
両県にエネルギーを供給。



火力発電所

岩瀬浜海水浴場

富山港  
神通川の、もとの河口にある。  
輸入港の性格がひじょうに強い港  
で、海外から原油・木材・鉱産物  
が入ってくる。昨年は、四八〇万  
トンの貨物を取り扱った。港の岸  
壁は、川の両岸あり、右岸側(東  
側)には、一万五千トン級の船  
が停泊できる。



宿泊料	広さ設備	室料(1人1泊につき)			備考
		1名	2-3名	4-5名	
特別和室A	12畳 バス・トイレ付	2,600	2,000	1,600	宿泊ご利用時間 16時~翌日10時
特別和室B	10畳 バス・トイレ付	2,200	1,700	1,400	
和室	10畳 トイレ・洗面付	1,500	1,200	1,000	食料料及び税・ サービス料 (10%)別
特別洋室	バス・トイレ付	3,900	3,000		
洋室	バス・トイレ付	2,600	2,000		



長慶寺と五百羅漢(呉羽山)  
曹洞宗の古刹の一つである。長  
慶寺の境内の、五百羅漢像が有名。  
江戸時代に富山の黒牧屋善次郎が、  
佐渡が島の石工に彫刻させて持ち  
かえり建立した。表情が楽しい。  
民芸館(呉羽山)  
全国の約三百点にのぼる、民芸  
品を展示。別館となっている合掌  
館では、合掌造りの家のものつ、美  
しさをしみじみ味わえる。入館料  
おとな一〇〇円子ども三〇円(月  
曜休館)



呉羽ハイツ(富山市吉作城山)  
富山平野をすっぽり見渡せる。  
呉羽丘陵の山頂に、五月一日オー  
ブン。富山勤労総合福祉センター  
が正式名。働く人たちの福祉をた  
かめるため建てられたものだが、  
どなたでも手頃な料金で利用でき  
る。レジャー、研修、宴会に、こ  
れから大いに重宝がられるだろう。  
地上四階、地下一階だて。一、二六  
人の宿泊が可能。呉羽公園口でバ  
ス下車。申込は、富山36-〇一九  
-113。

# 越中 伝説

「ジャンケンにしようや」  
「だめ、だめ、くじできめよう」  
よもぎ川のほとりで数人の子供たちが集っ  
て、わいわいさわいしている。  
夜なべに作ったわらじを歩きつけの町の店  
で金にかえ、家路を急いでいた徳平は、思わ  
ず少年のころを思いだし、なつかしさに足を  
とめた。  
「みんなでつかまえたんだ。公平に切って  
わけようや」どうやら相談がまとまったらし  
く、中の一人が立ってどこかへ急ごうとする。  
「なにしているんだね」徳平は声をかけた。  
「あのね。こんな大きなドジョウをつかま  
えたんだ」その少年は誇らしげに、今から刃  
物をとってきて切ってわけるといいます。  
徳平は急にドジョウがあわれになり、せつ  
かく夜なべしてもうけたお金を残らず出して  
ドジョウを手に入れ、家の前の池に放してや  
った。  
徳平の家は庄川の河畔、須磨という里にあ  
った。母は強欲で憎まれ者であったが、徳平  
は親孝行で正直者として評判の青年であった。  
母はドジョウの話を知ると、この銭失いの  
大馬鹿者がと口ぎたなくのしり、晩のオ  
カズにするから池からあげてこいといいつけ  
た。しかし、ドジョウはどこへ姿をかくした  
のか、いくら探しても見つからなかった。  
二・三日たつて、母が裏の川で洗濯中あや  
まって水の中に落ちた。折悪しく増水してお  
り、徳平も仕事にでて留守だった。十間(十  
八メートル)も流されたとき、十七・八の美  
しい娘さんがかけつけて、母を助けあげたう  
え、着物を一枚ぬいで、ぬれた着物とかえて  
くれた。  
娘は請われるままに徳平の家にきて、働き  
ものの徳平でさえあきれるほど仕事に精をだ  
したので、強欲な母をせむじもとすおすよ

うにして徳平の嫁にした。  
ある年のこと、夜中に目覚めた徳平が、自  
分の女房がえらいおそくまで縄ないを続けて  
いるなあと思いながら、またウトウトとし  
ていた。ふと気がつくと、枕元に妻がいる。  
「いつぞやはよもぎ川であぶない命を救っ  
ていただき、そのうえ今日まで親切にしてい  
ただきありがとうございます。お礼の万分  
の一にもなりません、庄川のほとりに縄張  
りしてある田地はあなたのものです。」と涙を  
おさえ、ついと立ちあがる様子が目覚めた。  
夢かと思わずと、女房の姿も山とつんだ  
縄も一筋残さずなくなっている。驚いた徳平  
は夜の明けるのを待って、女房が告げた庄川  
のほとりへ行ってみた。しかし、そこは荒れ  
果てた砂利原で、ところどころに雑木が生え  
ている荒地にすぎなかった。それでも、はる  
か遠くまでたしかに縄が張りめぐらされてい  
る。さてはキツネにだまされているなと思  
ながらも、これは女房がなつた縄に違いない  
かと手をふれてみた。その途端、こつ然とし  
て一団の黒雲が天空を駆け、稲妻がきらめく  
やせい惨な嵐となり、徳平は一散にわが家に  
逃げかえった。それから一昼夜、息もつかせ  
ず降りぬいた豪雨もようやく勢いをゆるめる  
と、今度はゴウゴウたる濁流が庄川一面に荒  
れ狂い、たちまち堤防を突き破って、例の縄  
張りをしてあるところへ、どつとばかりにお  
しよせた。次の日、水の引いたあとをみると  
昨日までの砂利原が広々とした泥土におわ  
れていた。徳平は喜んで、ここにアゼをこし  
らえ、水田として稲を植えた。稲はすく  
すくと育ち、年々大豊作だったので、徳平は  
みるみる大富豪となったという。  
世にいう「千石田」がこれである。  
(精神開発研究委員 成瀬 昌示)





●谷間に光を



希望をもって  
さあ、がんばろう